

## 道の駅「風の丘米山」再整備計画について

産業振興部道の駅「風の丘米山」整備推進室

### 1 現状

現在、日本海フィッシャーマンズケープが位置する国道側の一部を道の駅に編入し、再整備を行う計画を見直すこととする。

### 2 今後の対応

現在、道の駅の登録を受け休止している丘側の再整備の可能性について、道の駅の登録返上を含め、検討に着手した。

### 3 直近までの経緯

#### (1) 能登半島地震の発生と経営体制の変更

本年1月1日に能登半島地震が発生し、株式会社エムアンドケイ（以下、「エムアンドケイ」という。）本社がある金沢市を含む石川県の広範囲に被害が及ぶ。その1か月後の2月1日に株式会社ニッカイ米山（以下、「ニッカイ米山」という。）の代表取締役が交代する。

#### (2) 官民連携による再整備区域の拡大の打診

2月下旬に実施設計に向けた協議のため、エムアンドケイ本社を訪問した際に、エムアンドケイから基本協定における再整備区域を含む、隣接の民間宿泊施設や鴫が鼻（通称、恋人岬）一帯を含めた再整備の打診を受け、市の回答を求められる。

#### (3) 市の基本的な考え方の回答と実施設計に向けた民間事業者側のスケジュール提示の要請

3月下旬に、基本協定における再整備区域に変わりはないことと合わせて、新たな商業施設の建設に向けた実施設計スケジュールの提示を文書で市から民間事業者2社に要請する。

#### (4) 市の要請に対する回答に当たっての質問文書の收受及び質問に対する回答

4月に入り、商業施設の解体及び建設に向けた実施設計スケジュールの回答は無く、基本協定の対象区域外の再整備などの質問を民間事業者2社から受け、市からその回答を文書で行う。

#### (5) 民間事業者2社から本事業への参画を断念する意向の提示

5月下旬に、エムアンドケイ本社を訪問し、市の考え方は、基本協定の内容と変わりはないことを伝達し、民間事業者2社から事業への参画の断念を口頭で受ける。

後日、民間事業者2社の連名により文書で同様の意向が示される。

#### (6) 基本協定書の失効

民間事業者2社からの本事業への参画の断念の意向が文書で示されたことを受け、6月7日に、市から民間事業者2社に対して基本協定書の効力が失効したという認識であることを文書で通知する。